

8

モードの活用








利用するモードを選ぶ	8-2
オフィスモードで使う	8-3
グループモードで使う	8-7

利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

待受モードについて

現在設定されている待受モードは、画面の左上端に表示されています。各モードと表示されるアイコンについて以下に説明します。

- **公衆モード** 
ウィルコム®の公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコム®の電話機として使います。
- **オフィスモード** 
事業所用コードレスシステムの子機として使います。
- **グループモード** 
グループモード対応電話機どうして、トランシーバとして使います。
- **転送モード** 
グループモード対応電話機どうして、電話帳データやブックマークを送受信します。
- **公衆／オフィスモード（デュアルモード）** 
公衆モードとオフィスモードの2つのモードで同時に待ち受けます。
 は上側が公衆、下側がオフィスの状態を表示します。
- **公衆／グループモード（デュアルモード）** 
公衆モードとグループモードの2つのモードで同時に待ち受けます。

オフィスモード、および公衆／オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。グループモード、および公衆／グループのデュアルモードでグループ通話や電話帳／ブックマーク転送を行うには、本電話機1台に加えて、グループモードに対応した端末1台以上が必要です。



待受モードを切り替える （待受モード設定）

1 待ち受け画面で   

2      のいずれか

待受モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- ・以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
 - ・オフィスモード、公衆／オフィスモード「オフィスモードで使う」(※8-3ページ)
 - ・グループモード、公衆／グループモード、転送モード「グループモードで使う」(※8-7ページ)
- ・通話中は、待受モードの変更はできません。
- ・待ち受け画面で   を押しても、待受モード設定画面が表示されます。

オフィスモードで使う

オフィスシステム (PBX) に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。

また、「ダイヤルアップ」で、接続先として事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどを設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップの接続先を設定する (ダイヤルアップ)」(※4-26ページ)

- ・事業所用コードレスシステムの子機としてご利用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があります。また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- ・オフィスシステム (PBX) に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- ・オフィスシステム (PBX) は、各会社によって異なります。また、電話のかけかたなど操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
- ・対応するPBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

■モードを切り替える

オフィスシステム (PBX) の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆/オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える (待受モード設定)」(※8-2ページ)

電話をかける

オフィスシステム (PBX) の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える (優先発信切替)」(※8-5ページ)

- ・市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
- ・国際電話がご利用いただけます。






1 内線の場合、相手の電話番号を入力 外線の場合、外線発信番号を付けて相手の電話番号を入力

- 電話帳から電話番号を検索するには
「電話帳を使って電話をかける」(※2-31ページ)


- 発信履歴などから電話番号を検索するには

「記録されている電話番号にかける (発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(※2-3ページ)

- 電話番号を修正するには

①で修正したい箇所にカーソルを移動し、で消去してから、 ~ 、、で正しい番号を入力します。

- あらかじめ外線発信番号を登録しておく



外線発信番号なしで電話番号を入力したあとや、電話帳などからの発信時にを押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号が付けられます。「外線発信番号を登録する (外線発信番号)」(※8-4ページ)
また、0から始まる10桁以上の番号に自動的に外線発信番号を付けることもできます。「自動的に外線発信番号を付ける (自動外線発信番号付加)」(※8-4ページ)

- ### 2 または

相手が出ると通話できます。画面には通話時間が表示されます。

- ### 3 通話が終わったら

お知らせ

- ・外線発信番号はオフィスシステム (PBX) の設定やご契約の内容によって異なります。
- ・国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- ・表示される通話時間は目安です。
- ・を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。
- ・を2回押すと、前回かけた電話番号にリダイヤルされます。
- ・オフィスモードでは「分計発信」はご利用になれませんが、公衆/オフィスモード (デュアルモード) であれば「分計発信」がご利用になります。「料金分計サービスを利用する (有料)」(※7-57ページ)

電話を受ける













1 着信音またはバイブレータが動作する着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信メロディを設定する」(※ 2-39ページ)

2 

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら 

お知らせ

- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」(※ 2-28ページ)
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、以外に 、、、、、、 ~ 、、、 を押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」(※ 7-12ページ)
- 着信中の回線の種別は、一部のオフィスシステムでは表示されない場合があります。


電話を転送する


一度受けた電話を、他の電話機に転送することができます。

1 通話中に 



通話が保留になります。

2 転送先の電話番号を入力

3 転送先につながったら、取り次ぐことを伝えて 

転送先につながる前に  を押しても、電話は転送されます。転送先では、電話を受けるとすぐに相手とつながります。

外線発信番号を登録する (外線発信番号)

外線発信番号を登録することができます。登録しておくことで、直接ダイヤルした番号、電話帳、発信履歴、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに  を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的に付けることができます。もう一度  を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で   


2    ~  のいずれか

オフィスモードの番号が複数登録されている場合、外線発信番号を登録するオフィスモードの番号に対応したダイヤル番号を押します。

3  ~ 、、 で外線発信番号を入力 

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 外線発信番号は6桁まで入力できます。
- 入力した番号を修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。


自動的に外線発信番号を 付ける（自動外線発信番号 付加）

オフィスモードで0から始まる10桁以上の番号に発信する場合に、先頭に自動的に「外線発信番号」で登録した番号を付加します。

1 待ち受け画面で   

2  

自動外線発信番号付加が設定され、「設定しました」と表示されます。

- 自動外線発信番号付加を解除するには、自動外線発信番号付加の設定時に  (OFF) を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆/オフィス」または「公衆/グループ」に設定しているときに、どちらのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1 待ち受け画面で

2 または

優先発信モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

● （公衆優先）を押すと

公衆モード優先に設定され、待ち受け画面に「」または「」が表示されます。

● （オフィス、グループ優先）を押すと
オフィスモードまたはグループモード優先に設定され、待ち受け画面に「」または「」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「オフィス、グループ優先」に設定されています。
- 待ち受け画面で を約1秒以上押すことで、優先発信するモードを変更できます。
- 優先発信を設定しているモードが圏外の場合は、優先発信に設定されていない方のモード（圏内時）に自動的に（一時的に）切り替わります。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆/オフィス」に設定しているとき、一時的にモードを切り替えて発信することができます。どちらかのモードが圏外の場合は、切り替えることはできませんが、切替先が圏外のため発信できません。

1 相手の電話番号を入力

2 または

相手が出ると通話できます。

お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切り替えを次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（※同じページ内です。）

電話帳で発信方法の指定をする

電話帳に登録された電話番号に、発信方法を指定することができます。

1 電話帳登録画面で、 で入力済みの電話番号を選択

2 で登録された電話番号に対する発信方法を選択

（発信先）を押すごとに、電話番号の右端に表示される発信先アイコンが （オフィス発信）→ （公衆発信）→ （指定なし）→ …と切り替わります。

お知らせ

- 電話帳の登録時にオフィス発信または公衆発信を指定すると、電話帳詳細画面で、電話番号の右端にはそれぞれ、 のアイコンが表示されます。
- 電話帳の登録方法については、「電話帳を新規登録する」（※2-28ページ）を参照してください。
- 電話帳の修正方法については、「電話帳の内容を編集する」（※2-33ページ）を参照してください。
- 電話帳で発信方法の指定ができるのは、オフィスシステム（PBX）に登録されている場合のみです。

電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作について

電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作は、待受モード、優先発信切替の設定により次のようになります。

待受モード	電話帳での発信方法指定	
	公衆	内線
公衆モード	公衆発信	発信できません
オフィスモード	発信できません	オフィス発信
公衆+オフィス （公衆優先）	公衆発信	
公衆+オフィス （オフィス優先）		
公衆+オフィス （公衆圏外）	発信できません	
公衆+オフィス （オフィス圏外）	公衆発信	発信できません
公衆+グループ （公衆優先）		
公衆+グループ （グループ優先）		
公衆+グループ （公衆圏外）	発信できません	

お知らせ

- 以下の番号への発信は、オフィス発信にはならず、通常の公衆回線での発信になります。
 - ・110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）など先頭が1で始まる3桁の番号
 - ・先頭が*0～*6、*9で始まる番号
 - ・先頭が#で始まる番号
 - ・先頭が1841、1861で始まる6桁の番号
 - ・先頭が070、184070、186070で始まる番号
- 待受モードについては、「利用するモードを選ぶ」（※8-2ページ）を参照してください。
- 優先発信切替については、「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（※8-5ページ）および「優先するモードを一時的に切り替える」（※8-5ページ）を参照してください。
- 電話番号の先頭に0000を付加して登録すると、先頭の0000を除いた公衆回線にかかります。

オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替）

オフィスモードの番号が複数登録されているときに、使用するオフィス番号を自動または手動で切り替えます。


1 待ち受け画面で

2 または

● （自動切替）を押すと

「異なるオフィスシステムが近接しているエリアでは発信着信に失敗する場合があります」と表示され、オフィスモード用の電波が検知されます。数秒後、電波の強いオフィスの番号に自動的に切り替わり、「設定しました」と表示されます。

● （手動切替）を押すと

オフィス番号の一覧が表示されるので、使用する番号を選択して  を押します。オフィス番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「手動切替」に設定されています。
- オフィスモードの番号を登録すると「手動切替」に設定されます。

オフィスEメールを送受信する

公衆モードでのEメール送受信と同様に、オフィスモードでEメールを送受信することができます。「Eメールを作成送受信する」（※3-7ページ）

■オフィスモード時の接続モードを設定する

オフィスEメールを送受信するには、あらかじめオフィスモード時の接続モード（接続先、送信メールアドレス、受信メールアドレスなど）を設定しておく必要があります。「オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）」（※4-30ページ）

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。



● プッシュ信号の送信

通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。


● 内線番号表示

本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」（※7-5ページ）


● 通話中保留

通話中に  を押しして通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度  を押しします。

● 内線/外線への転送

保留状態で転送先の電話番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら  を押しします。

● キャッチホン

通話中に「プップ・プップ・」という音（キャッチホン）が鳴ったときに、 を押しして通話相手を切り替えます。

● 外線/内線/専用線の着信音鳴り分け

外線/内線/専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信メロディを設定する」（※2-39ページ）

お知らせ

- 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。「着信メロディを設定する」（※2-39ページ）

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕(※8-9ページ)」、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕(※8-9ページ)」、および「グループ内で電話帳やブックマークを転送する(電話帳/ブックマーク転送)」(※8-10ページ)を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは3つまで登録できます。送信側1台と受信側1台以上の間で双方向に、または受信側どうして、トランシーバ通話および電話帳/ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。〔待受モードを切り替える(待受モード設定)〕(※8-2ページ)

電話帳/ブックマーク転送をするには、待受モードを「転送」に切り替えます。

グループを登録する

電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側1台と受信側1台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。

グループは3つまで登録できます。グループごとに、あらかじめ同一の4桁の暗証番号を決めておく必要があります。




受信側の操作






登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

1 待ち受け画面で     





2     のいずれか

● 登録済みのグループを選択したとき

「グループリストは削除されます 上書きしますか?」と表示されます。  で「Yes」または  で「No」を選択して、  を押しします。

3     でトランシーバ番号を入力 ▶ 

0001～8000の間で、任意の番号を入力します。0001は「1」、0123は「123」というように、上位桁の「0」は省略して入力することができます。

4     で4桁のグループ暗証番号を入力


「送信側の操作」の手順3(※同じページ内です。)で入力する暗証番号を入力します。

5 


「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」の手順4(※同じページ内です。)のときに、送受信が開始されます。

送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

● 登録できなかったとき

エラー音が鳴り、受信失敗となります。  を押しと、手順1のグループ登録画面に戻ります。

お知らせ

- 受信側は約30秒間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。
- トランシーバ番号やグループ暗証番号を修正する場合は、  を押しします。入力した数字が右端から消えます。


送信側の操作

1 待ち受け画面で     

2     のいずれか


3     で4桁のグループ暗証番号を入力

「受信側の操作」の手順4(※同じページ内です。)で入力した暗証番号を入力します。

4 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認 

送信が成功すると「送信終了」と表示され、受信側が登録されます。

● 送信が失敗したときは

エラー音が鳴り、「送信失敗」と表示されます。  を押しと、手順1のグループ登録画面に戻ります。

お知らせ

- 送信側のトランシーバ番号は、自動的に「0」に設定されます。
- グループ暗証番号を修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。

グループリストを登録する

グループごとに、通信する相手先の名前とトランシーバ番号をリストとして登録しておくことができます。通信相手は1グループにつき100件まで登録することができます。

1 待ち受け画面で

2 ~ のいずれか

選択したグループのリストが表示されます。相手先が1件も登録されていないときは、手順4に進みます。

3

4 で「名」を選択 ▶ 「名前」と「フリガナ」を入力

「名前とフリガナを入力する」(※2-28ページ)

5 で「」を選択 ▶ トランシーバ番号を入力

6

相手先がグループリストに登録され、「登録しました」と表示されます。

グループリストを編集する

1 待ち受け画面で

2 ~ のいずれか

3 グループリストの一覧で、編集する相手先を選択 ▶

4 各項目を編集

編集結果が登録され、グループリストの一覧画面に戻ります。

続けて他の相手先を編集するときは、手順3~4を繰り返します。

グループリストを削除する

グループリストに登録されている相手先を削除します。

1 待ち受け画面で

2 ~ のいずれか

3 グループリストの一覧で、削除する相手先を選択する

4 ▶ ~ のいずれか

● (一件削除) を押すと

選択した相手先を1件だけを削除します。

● (選択削除) を押すと

で削除する相手先を選択して (チェック) を押します。相手先の先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度 (チェック) を押します。

全件選択する場合は、 (全件選択) を押します。

チェックをすべて外す場合は、 (全件解除) を押します。

削除する相手先の選択を終えたら (削除) を押します。

● (全件削除) を押すと

すべての相手先を削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

5 で「Yes」を選択

グループリストの相手先が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- グループリストから相手先の情報も削除しても、その相手先のグループ登録は削除されません。

グループ名を編集する

1 待ち受け画面で

2 ▶ で名前を編集するグループを選択

3 新しいグループ名を入力

グループ名が変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ


- 登録されているグループ名を変更すると、グループリストのグループ名も変更されます。ただしリストの内容は変更されません。
- 親機側のグループ名を変更しても、子機側のグループ名は変更されません。

グループ登録を削除する

グループ登録の内容をすべて削除します。グループリストも削除されます。

1 待ち受け画面で   

2 

● グループが登録されていないとき
 (グループ削除) は選択できません。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

認証されると、グループの一覧が表示されます。

4  ~  のいずれか


5  で「Yes」を選択 

グループ登録が削除され、「グループ登録を削除しました」と表示されます。


相手呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える(待受モード設定)」(※8-2ページ)デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える(優先発信切替)」(※8-5ページ)



1 待ち受け画面でグループ番号  ~ 

グループ番号がわからない場合は、 を押してグループ一覧を表示させることもできます。自分の電話機のトランシーバ番号が表示されます。

2 相手のトランシーバ番号を入力

入力したトランシーバ番号が表示されます。トランシーバ番号を修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。

● グループリストからトランシーバ番号を入力するには

 (リスト) を押すと、グループリストが表示されます。 を押して相手先を選択します。

3  または 

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら 

お知らせ

- グループ登録を行った電話機間で、トランシーバ通話ができます。
- グループ登録時の受信側、送信側のどちらからでも発信できます。また、受信側どうしでも発信ができます。
- 次のときには通話が終了することがあります。
 - 距離が離れすぎたとき
 - 電池パックの電圧が低下したとき
 - なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき(このときには「ツーツー」という切断音が聞こえます)
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、自動的にもう一度つながります。
- 電話帳、リダイヤル、番号メモ、着信履歴からの発信はできません。
- 手順2で相手のトランシーバ番号を入力後、約5秒たつと自動的に発信します。

相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

グループの電話機からの着信を受けるには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える(待受モード設定)」(※8-2ページ)




1 着信音またはバイブレータが動作する

2 

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら 

お知らせ

- 呼び出しを受けてから約30秒たっても  を押さないとときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、 または  を押して着信音やバイブレータの動作を止めることができます。
- 着信したトランシーバ番号は着信履歴に残りません。

グループ内で電話帳やブックマークを転送する (電話帳/ブックマーク転送)

電話帳転送機能対応機どうして、電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

● 電話帳データ

名前	全角16文字(半角32文字)まで
読み	半角32文字まで
電話番号	3件、各32桁まで
番号種別	電話番号、携帯電話、PHS、自宅、会社、FAX、ショップ、レストラン、病院、その他
メールアドレス	3件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで
メモ	全角50文字(半角100文字)まで

● ブックマーク

タイトル	全角16文字(半角32文字)まで
URL	半角200文字まで

転送モードに設定する(待受モード)

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録されており、待受モードを「転送」モードに切り替えておく必要があります。「グループを登録する」(※8-7ページ)

1 待ち受け画面で

2

待ち受けモードが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- ・「転送」モードでは音声通話はできません。

電話帳を転送する

1 待ち受け画面で

2 または

電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」(※2-31ページ)

● (指定転送) を押すと

電話帳データを指定して転送できます。 で転送する電話帳データを選択して (チェック) を押します。電話帳データの先

頭に が付きます。チェックを外すときは、再度 (チェック) を押します。全件選択する場合は、 (全件選択) を押します。チェックをすべて外す場合は、 (全件解除) を押します。転送する電話帳データの選択を終えたら (完了) を押します。

● (全件転送) を押すと

手順3へ進みます。電話帳をまとめて転送できます。

3 ~ のいずれか

4 転送先のトランシーバ番号を入力

● グループリストからトランシーバ番号を入力するには

(リスト) を押すと、グループリストが表示されます。 で転送先を選択します。

5 または

転送が開始されます。

● 転送が成功すると

完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。

● 転送に失敗すると

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されます。

● 転送が中断したときは

転送途中でエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。 (再接続) を押すと、転送が再開されます。 (転送中止) を押すと、エラーの発生前に転送された電話帳データは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■ 受信側の表示

転送された電話帳の登録内容が、電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されません。

お知らせ







- ・電話帳ロックを設定しているときは、手順2で (電話帳) を押したあと、認証画面が表示されます。認証を行ったあと、 (指定転送) または (全件転送) を押します。

ブックマークを転送する

1 待ち受け画面で    

2   ▶  または 

●  (指定転送) を押すと

ブックマークを指定して転送できます。
 でブックマークフォルダを選択して  (決定) を押し、 でブックマークを選択して  (チェック) を押します。ブックマークの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。転送するブックマークの選択を終えたら  (完了) を押します。



●  (全件転送) を押すと



手順3へ進みます。ブックマークをまとめて転送できます。

3  ~  のいずれか

4 転送先のトランシーバ番号を入力

● グループリストからトランシーバ番号を入力するには

 (リスト) を押すと、グループリストが表示されます。 で転送先を選択します。

5  または 

転送が開始されます。



● 転送が成功すると

完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。

● 転送に失敗すると

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されません。

● 転送が中断したときは

転送途中にエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。 (再接続) を押すと、転送が再開されます。 (転送中止) を押すと、エラーの発生前に転送されたブックマークは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■ 受信側の表示

転送されたブックマークの登録内容が、ブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

